

## 原核生物コハク酸コエンザイムA合成酵素、組換え

Cat. No. NATE-0916

Lot. No. (See product label)

### はじめに

#### □明

酵素学において、コハク酸-CoAリガーゼ (ADP形成) (EC 6.2.1.5) は、次の化学反応を触媒する酵素です:  $ATP + \text{コハク酸} + \text{CoA} \leftrightarrow \text{ADP} + \text{リン酸} + \text{コハク酸-CoA}$ 。この酵素の3つの基質はATP、コハク酸、CoAであり、3つの生成物はADP、リン酸、コハク酸-CoAです。この酵素はリガーゼのファミリーに属し、特に酸-チオールリガーゼとして炭素-硫黄結合を形成するものです。この酵素は4つの代謝経路に関与しています: クエン酸回路、プロパノ酸代謝、C5分岐二酸代謝、還元的カルボキシル化サイクル (CO2固定)。

#### 別名

CoAリガーゼ (ADP形成) ; スクシニル-CoA合成酵素 (ADP形成) ; スクシン酸チオキナーゼ; スクシネートチオキナーゼ; スクシニル-CoA合成酵素; スクシニルコエンザイムA合成酵素 (アデノシン二リン酸形成) ; スクシニルコエンザイムA合成酵素; A-STK (アデニンヌクレオチド結合スクシネートチオキナーゼ) ; STK; A-SCS; スクシネート-CoAリガーゼ (ADP形成) ; EC 6.2.1.5

### 製品情報

由来	微生物
形態	液体
EC番号	EC 6.2.1.5
CAS登録番号	9080-33-5
分子量	$\alpha$ -subunit: ~31kD; $\beta$ -subunit: ~41kD
活性	~ 13 U/mg タンパク質
単位定義	1ユニットは、pH 8.4および25°Cのグリシルグリシンバッファー中で、NADHおよびコエンザイムAの存在下で、コハク酸から1μmoleのスクシニルCoAを放出するのに必要な酵素の量として定義されます。

### 保管・発送情報

保存方法	4°C
------	-----